

STEP 事業報告(ワイズメンズクラブ西日本区)

報告者:石田 大樹(大阪工業大学)

訪問先:デンマーク

日程 :8月13日~9月3日+1日

1. はじめに
2. STEP 事業での目的
3. STEP での活動と経験
4. 現地 YMCA とワイズメンズクラブ
5. 活動から得られたこと
6. まとめ

1. はじめに

今回は、ワイズメンズ STEP 事業に推薦いただきありがとうございました。大阪工業大学、二年生の石田大樹です。普段は、大学で建築の勉強を、また、大阪 YMCA で子供達と野外活動をさせてもらっています。

祖母が宝塚ワイズメンズクラブに所属していて、大学に入り海外への興味が高まっているところ、STEP 事業のことを聞きました。ぜひ、行きたいと希望をし、ワイズメンズ宝塚クラブとの交流があるデンマークへの受け入れが決定しました。デンマークでは、RD である Bjareneさんとデンマークの STEP 担当の Connieさんのもと、親交のある方々のお家に7軒宿泊し、多くの経験をさせていただきました。海外での文化、YMCA とワイズメンズの国際性、英語でのコミュニケーションの大切さを学ぶ日々を送れました。

2. STEP 事業での目的

ワイズメンズクラブ国際協会 STEP 事業とは、高校生や大学生、30歳までの若者の海外短期交流プログラムを行い、若者の国際交流や国際理解を目的としています。将来を考えるにあたり、海外経験が必要と感じ、今回応募させていただきました。

3. STEP での活動と経験

STEP での活動、経験を具体的に話したいと思います。デンマークと日本では時差は 7 時間あります。関西空港からフィンランドのヘルシンキと乗り継ぎ、デンマーク

のビルンに到着しました。着いたら、日本の国旗を持った Bjaren さんと Vita さんが迎えてくださり、とても感動しました。

最初に Bjaren さんと Vita さんの家にホームステイして Give クラブのミーティングに出席し、Give の町の公共施設を案内してもらいました。3 日目には、KFUM というワイズメンズのスポーツ事業を担当している Richard さんに体育館や彼の事務所を案内してもらいました。ヨーロッパではユースでスポーツ大会を行っていることを聞き、ワイズメンズの交流の広さを感じました。その日に Vejle 駅まで送ってもらい、Aarhus に行きました。Aarhus では、Cønnie さんの Boarding School の卒業生の Samuel さんに町を案内してもらいました。Samuel さんは建築家で彼の事務所と事務所での仕事を見学させていただきました。夜には、寿司屋さんに連れて行ってもらい、楽しく過ごしました。次の日には、21 歳と年の近い Jacob さんと Stine さんの家に行き、その友達とワイズメンズのバーに行きました。デンマークの王室や日本の言葉について語り合い、とてもあたたかく接してくれました。Give に戻る時にもバス停まで親切に案内していただきました。

Give に戻ってからは、Guril さんと Niels さんの家にホームステイしました。Jeilin の世界遺産の石がある博物館、Lego Land に連れて行っていただきました。Guril さんはアパートを経営していてそこにシリアの難民の方々を泊めていると聞きました。ニュースでのことが現実で起きていることを実感しました。Nina さん Hans さんの家では、Veijle という町まで 20km のサイクリングをしました。夏でもからっとした天気の下、Veijle の Hangs さんの元職場や綺麗なデンマークの自然を堪能しました。

Bodil さんと Erick さんとは家族や宝塚ワイズメンズと交流があり、会った時にはとても温かく家族のように接してくださいました。

Margit さんと Hennig さんは車でデンマーク女王の夏の別荘や古い町並みが残る Ribe へ連れて行ってくださいました。

そのあと、Give の教会でお世話になった方々と再会しました。

Helisingor というクロンボー城のある町へ行きました。Vita さん Bjaren さんの娘である Ura さんの家にホームステイをしました。綺麗な海がある町で、対岸にはスウェーデンが見えて感動しました。コペンハーゲンの町に Bjaren さんが 2 日間、案内してくださいました。合計、5 万 5 千歩歩きながら町々を親切に説明しながら案内してくださいました。ボートから見たコペンハーゲンでは都会でも人々が海で泳いでいる街並みは印象的でした。

リンケビング潟の近くにある Cønnie さん FLemming さんの家には 4 日間ホームステイしました。Boarding スクールに行き 13~15 歳の学生と英語、地理、生物の授業を受けました。学生は英語で親切に接してくれ、とても楽しい時間を過ごしました。毎回の授業で生徒たちがグループに分かれて、積極的に全員が対話をしていたのがとても印象的でした。

4. 活動から得られたこと

デンマークでの 21 日間はあっという間に過ぎ、毎日が人との出会いに心おどる日々で、行くところ行くところで人の温かみを感じました。英語が苦手な私に、「ゆっくり話した方がいい?」と聞いてくれたことはとても印象的で感動でした。また、同時に英語の大切さを痛感しました。デンマークでは若者は英語がほとんど話せていました。今回の Step 事業で英語が拙いながらも海外で過ごせたことで自信を得ることができました。

普段から、交流をしていた祖母や宝塚ワイズメンズクラブの方々への感謝も度々感じました。また、デンマークでは幼稚園から大学まで教育費が無料で、老人ホーム、図書館など公共的な社会制度が充実していることを体験することができました。日本のことしか考えていなかった自分が、デンマークでの人々と交流したことで、デンマーク、海外での出来事の興味を強く持つようになりました。

5. まとめ

以上が私がデンマークで経験したことです。最初はとても緊張しましたが、多くの人と交流することで徐々に慣れていくことができました。多くの人に「英語は重要だよ。」と言われ、今度デンマークに行く時までには上達しようと思っていました。身振り手振りで自分の好きなスポーツを伝えたことホームステイ先でゲームを覚えたことはとても楽しい思い出です。

YMCA の国際的なつながりを強く感じ、家族のようにみんなが接してくれました。

この度はワイズメンズクラブの皆様には大変お世話になりました。私にとってこの STEP 事業の経験は本当に大きなものでした。ぜひこれからも多くの高校生、大学生にチャンスをつくっていただきたいと思います。本当にありがとうございました。



